

令和7年3月31日

東御市議会議長

山崎 康一 様

会 派 名 しんせいの会

代表者氏名 花岡 豊一

## 令和6年度(下期)政務活動費収支報告書

東御市議会政務活動費の交付に関する規則第7条の規定により、下記のとおり、令和6年度(下期)政務活動費収支報告書を提出します。

## 記

交付金額	150,000	円
支出金額	81,240	円
差引金額	68,760	円

(支出の内訳)

(単位:円)

科 目	決 算 額	政務活動費充当額	説 明
調 査 研 究 費	75,300	74,920	岐阜県岐阜市、愛知県半田市
研 修 費			
広 報 費			
広 聴 費			
要望・陳情活動費			
会 議 費			
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費	6,320	6,320	市議会会議録代
人 件 費			
事 務 所 費			
計	81,620	81,240	

(実施事業)

事 業 名	事 業 内 容
会派行政視察調査研究費及び資料購入費	行政視察調査研究①水道管の老朽化対策として、衛星を利用して水道管の漏水を発見する先進事例を調査研究し、全国的に問題となっている上下水道管の老朽化対策を東御市の参考とするもの。②部活動の地域移行に対し、早くから取り組んでいる成功事例を調査研究し、今後の東御市の活動に活かすもの。 及び市議会会議録購入

政務活動記録簿

会派名	しんせいの会
事業名	会派行政視察【岐阜県岐阜市、愛知県半田市】
実施日	令和7年2月3日（月）～4日（火）
参加議員	花岡豊一、斉藤哲

1 東御市における課題と研修・調査の目的

- ①水道管の老朽化対策として、衛星を利用して水道管の漏水を発見する先進事例を調査研究し、全国的に問題となっている上下水道管の老朽化対策を東御市の参考とするもの。
- ②部活動の地域移行に対し、早くから取り組んでいる成功事例を調査研究し、今後の東御市の活動に活かすもの。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○) ○ 調査研究費	交通費	J R 東日本、J R 東海、しなの鉄道	36,180
研修費	視察先謝礼	6,480円÷3×2人分	4,320
広報費	日当	宿泊料、日当 ( @13,000円×1日 + @2,200円×2日 ) ×2名)	34,800
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			75,300

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

実施日時	令和7年2月3日(月)
視察場所及び 部局等	岐阜市市役所 上下水道事業部
視察事項	AIによる衛生画像解析技術を用いた漏水調査について
報告 内 容	<p>(1) 視察先概要 岐阜市は、岐阜県の中南部に位置する市。岐阜県の県庁所在地および人口が最多の市で、中核市に指定されている。 政令指定都市でないものの、人口密度は政令指定都市である熊本市や北九州市、札幌市などよりも高い。東海3県の中では名古屋市、豊田市に次ぐ人口である。 人口 393,745人(2025年2月1日現在) 面積 203.60km<sup>2</sup></p> <p>(2) 視察事項について 近年、上下水道管の老朽化による漏水事故等が全国的に問題となっている中で、衛星を用いた漏水調査を行っている先進事例を伺う。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 岐阜市の水道事業の抱える問題 総管路2.424km、古いものは40年経過している(経過管22%) 老朽化対策・耐震化を進めているが、漏水調査等に予算がかかり、漏水箇所が多く有収率73.4%と低く(中核市平均90.9%)経営の悪化を招いている。 有収率改善のため漏水調査と早期修繕のためAIの導入。 令和3年度、豊田市が初採用したアステラ・リカバリーより詳細なデータが取れるアステラ・マスタープランを岐阜市が初採用。 全管路の漏水リスクを5段階で判定、当リスクのレベル4・5を令和4年度に個別音聴調査、レベル3を令和5年度に調査することで漏水委託料を25%削減できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下漏水の早期発見・早期修繕により地下漏水発生件数が減少</li> <li>・令和6年度の有収率は上昇の見込み</li> <li>・補助金の活用(令和4年度IOT活用推進モデル事業[補助率1/3]・令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業[1/2]に採択)</li> <li>・令和6年度は近隣2市と連携し一括発注により調査費削減(R4年度15.510千円→R6年度8.152千円47%削減)</li> </ul> <p>○東御市への提案について 基本的に市の給水管も老朽化・耐震化の対策を必要としており、一部は早急な管の更新が求められている。衛星を用いたAI漏水調査も幾つかの方式があり、調査・研究の上、当市に見合った物を選択することも必要と考える。 本年、国内で下水道管の老朽化による大きな事故も発生し、国交省からも「早急な調査が必要」との見解が出されており、今回の行政視察が内容もタイミングも良いものであったと認識しております。 関係部署と連携し、共有していけるものと考えます。</p>

実施日時	令和7年2月4日 (火) 午前10時00分～11時30分
視察場所及び 部局等	愛知県半田市議会会議室 教育部 学校教育課、スポーツ課、生涯学習課
視察事項	部活動の地域移行の取り組みについて
報告 内 容	<p>(1) 視察先概要半田市は、名古屋市の南の知多半島の中央部で中部国際空港の東側に位置し古くから海運業、醸造業で栄えた港町の風情を地域のそこそこに見ることが出来る。 現在も醸造業で日本有数のミツカンの本社が置かれている、また黒を基調とした蔵の街を演出している。</p> <p>(2) 視察事項について スポーツ庁及び文化庁から示された、部活動改革に向けた施策のガイドラインで、地域連携・地域クラブ活動への移行の取り組みに、先進的に推進されている。 現在までの取り組みの経過・現状、また今後の進め方と課題について担当者より伺った。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 部活動の地域移行の取り組みが早期に進められたことの一因として組織的に連携がとりやすかったことがあったと考えられる。 教育部の中に学校教育、スポーツ、生涯学習の関係課があり、それぞれの情報共有ができたことは取り組みを早期に進めることが出来た一因である。 当市において、情報共有などで指針決定までの時間がかかっていることは、今後新しく部課を横断して行われる事案では、組織の在り方も考慮することも必要と思われた。 今後の取り組みの問題点としては、施設の充実を図り地域での活動場所が、確保整備されることが望まれる。 その活動拠点を運営する、各関係団体の運営事務や指導者の育成を進めるため広く人材(大学生、保護者等)を募っていくことが肝要であることは東御市も同様である。 前述の問題について、個々の自治体の対応では限界があると思われる。 広く広域で連携し多様なニーズの活動場所・人材の確保、活動成果の発表の場の要綱統一等、を進めることが、子供たちの多様なスポーツ・芸術活動を支える体制の推進に必要と感じた。</p>

政務活動記録簿

会派名	しんせいの会
事業名	東御市議会定例会等会議録購入
実施日	
参加議員	花岡豊一、斉藤哲、村山弘子

1 東御市における課題と研修・調査の目的

議場内における議案の採決に至るまでの経過や議論された内容等について、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入する。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	市議会会議録購入代	9月定例会 会議録	4,857
	〃	第2回臨時会 (11/25) 会議録	238
調査研究費	〃	12月定例会 会議録	1,225
研 修 費			
広 報 費			
広 聴 費			
要請・陳情活動費			
会 議 費			
資料作成費			
資料購入費			
人 件 費			
事 務 所 費			
合 計			6,320

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと